

(二ページからつづく) が、現在諸経費との均衡上、また他市の状況とも比較検討し、若干の値上げは止むを得ないものと考えられますので、手続料金および関連事項の改正を行ない、清掃業務の合理化をはかりたいと考えております。

福祉関係

福祉関係においては、昭和三十三年の厚生省予算案を見ますとき、社会保障関係の予算は昭和三十六年度を契機として、ますます増額されつつあります。こぼしにすぎません。

消防関係

消防関係においては、昨年中の当市の火災件数は二十一件で、大火の発生を見なかったことは市民各位の協力と消防団の適切な活動によるものであり、幸いに存してあります。しかし、このうち西大村小学校の火災があり、市有建築物の一部を焼失しましたことは遺憾に存してあります。

特別会計の事業

国民健康保険

国民健康保険の事業勘定については、この財源につきましては、国民健康保険の増額が希望する額に達しませんので、どうしても若干の保険増徴を余儀なくされる状況であります。

病院関係

昭和三十六年七月および十二月の医療費の値上げにより、大幅な給付増額を来しているものであります。

モーターボート競走事業

モーターボート競走事業は開設以来十周年を迎えるわけであり、公営競走審議会の答申にもとづき法改正が実現する年となります。

水道事業

水道事業におきましては、水道事業が完成いたしました。このダム建設の目的の中に水道も含まれ、今後上水道用として一日一萬三千トンを確保することを目指して、現在本市の水道水の六〇%は深井戸を使用している関係上、揚水のため電力費等相当の経費を必要としており、一日も早くこのダムに切替えられ経費の軽減を計り、事業経営の合理化を行ないたいと考えております。

公営質屋

公営質屋会計においては本年度から新たに一般会計より百万円を繰出し、貸付金を三百万円とし、一部条例の改正をなして、小額資金の融通を図り本市市民の福祉を増進いたします。

碎石事業

碎石事業については昭和三十三年下半期から特別会計を設置し、三十六年度まで四年半の期間約三、〇〇〇立方メートルの碎石を生産し、三十五年までに四百八十五万立方メートルを繰出し、市道整備ならびに公共事業に寄与いたしてまいりましたが、三十六年度から石山の状態ならびに機械設備その他諸般の状況からいって、検査いたしました結果、三十六年度末で廃止することを決定いたしました次第であります。

日本脳炎のワクチン

20日まで受け付け

日本脳炎は蚊が媒介するものが、特有の夏の流行病で、とくに八、九月が最盛期です。だれでもかかりますが患者の大半は十才以下の小児で、その死亡率も五〇%という、ものとも恐ろしい伝染病です。

簡易な乾草の作り方

とくに乾草は、飼料の重要な要素で、乳牛や肥育牛をもちつる農家は、水田裏作にして、乾草を作ると、飼料作物を作った方が、経済的に多量に採れるから、最近水田裏作の飼料作物栽培(主としてイタリアンライグラス)が増えています。

